**別添１　防災情報システム機能要件**

目次

[1 災害管理機能 1](#_Toc29402118)

[1.1 災害管理機能 1](#_Toc29402119)

[1.1.1 災害一覧参照機能 1](#_Toc29402120)

[1.1.2 災害登録機能 1](#_Toc29402121)

[1.1.3 災害入力情報紐付け機能 1](#_Toc29402122)

[1.1.4 災害措置登録 2](#_Toc29402123)

[2 情報集約機能 3](#_Toc29402124)

[2.1 警戒情報集約機能 3](#_Toc29402125)

[2.1.1 気象情報 3](#_Toc29402126)

[2.1.2 河川・土木情報 3](#_Toc29402127)

[2.1.3 土砂災害情報 3](#_Toc29402128)

[2.2 被害情報収集機能 3](#_Toc29402129)

[2.2.1 被害情報入力機能 3](#_Toc29402130)

[2.2.2 被害情報現況確認機能 5](#_Toc29402131)

[2.2.3 被害情報履歴参照機能 5](#_Toc29402132)

[2.2.4 SNS情報収集機能 5](#_Toc29402133)

[2.3 被害情報集計機能 6](#_Toc29402134)

[2.3.1 被害情報集約機能 6](#_Toc29402135)

[2.3.2 災害経過履歴参照機能 7](#_Toc29402136)

[2.3.3 速報・確定報作成機能 7](#_Toc29402137)

[2.3.4 資料参照・訂正機能 7](#_Toc29402138)

[2.4 災害対策本部設置情報登録機能 8](#_Toc29402139)

[2.4.1 災害対策本部情報入力機能 8](#_Toc29402140)

[2.4.2 災害対策本部設置状況確認機能 8](#_Toc29402141)

[2.4.3 災害対策本部設置情報履歴参照機能 8](#_Toc29402142)

[2.5 避難勧告等登録機能 8](#_Toc29402143)

[2.5.1 避難発令判断支援機能 8](#_Toc29402144)

[2.5.2 避難勧告等情報入力機能 9](#_Toc29402145)

[2.5.3 避難勧告等状況確認機能 9](#_Toc29402146)

[2.5.4 避難勧告等情報履歴参照機能 9](#_Toc29402147)

[2.6 モバイル機能 9](#_Toc29402148)

[3 情報共有機能 11](#_Toc29402149)

[3.1 活動情報共有 11](#_Toc29402150)

[3.1.1 職員向けポータル機能 11](#_Toc29402151)

[3.1.2 GIS機能 11](#_Toc29402152)

[3.1.3 気象ポータル機能 11](#_Toc29402153)

[3.1.4 状況モニター機能 11](#_Toc29402154)

[3.1.5 災害映像情報 11](#_Toc29402155)

[3.1.6 ライフライン情報 11](#_Toc29402156)

[3.1.7 掲示板 12](#_Toc29402157)

[3.1.8 文書フォルダ 12](#_Toc29402158)

[3.1.9 メッセージ機能 12](#_Toc29402159)

[3.1.10 通知メッセージ機能 12](#_Toc29402160)

[4 活動支援機能 13](#_Toc29402161)

[4.1 タイムライン管理 13](#_Toc29402162)

[4.2 支援要請 13](#_Toc29402163)

[4.2.1 物資要請 13](#_Toc29402164)

[4.2.2 応援要請 13](#_Toc29402165)

[4.3 受援支援 13](#_Toc29402166)

[4.4 避難所管理機能 13](#_Toc29402167)

[4.5 物資管理 14](#_Toc29402168)

[5 活動体制の確立 15](#_Toc29402169)

[5.1 組織体制及び動員配備態勢 15](#_Toc29402170)

[5.1.1 本部設置（配備態勢）機能 15](#_Toc29402171)

[5.1.2 本部移行支援機能 15](#_Toc29402172)

[5.1.3 本部設置（配備態勢）一覧機能 15](#_Toc29402173)

[5.1.4 本部体制図 15](#_Toc29402174)

[5.1.5 関係機関との連絡調整 15](#_Toc29402175)

[5.1.6 履歴管理機能 15](#_Toc29402176)

[5.2 緊急連絡による職員参集指示 15](#_Toc29402177)

[5.2.1 配信機能 15](#_Toc29402178)

[5.2.2 自動配信機能 16](#_Toc29402179)

[5.2.3 参集回答機能 16](#_Toc29402180)

[5.2.4 再配信機能 16](#_Toc29402181)

[5.2.5 訓練機能 16](#_Toc29402182)

[5.2.6 参集対象者マスタ機能 16](#_Toc29402183)

[5.2.7 配信メール作成 16](#_Toc29402184)

[5.2.8 履歴管理機能 16](#_Toc29402185)

[5.2.9 参集履歴機能 16](#_Toc29402186)

[6 報告機能 17](#_Toc29402187)

[6.1 帳票出力機能 17](#_Toc29402188)

[6.2 情報管理 17](#_Toc29402189)

[6.2.1 被害報告情報の取得 17](#_Toc29402190)

[6.2.2 統計情報の取得 18](#_Toc29402191)

[6.2.3 防災マップ 18](#_Toc29402192)

[7 訓練機能 19](#_Toc29402193)

[7.1 訓練環境との切替 19](#_Toc29402194)

[7.2 訓練用環境の登録 19](#_Toc29402195)

[7.3 状況付与の登録 19](#_Toc29402196)

[8 府民向けポータル機能 20](#_Toc29402197)

[8.1 府民向けポータル機能 20](#_Toc29402198)

[8.1.1 ポータルサイト 20](#_Toc29402199)

[8.1.2 緊急情報・お知らせ 20](#_Toc29402200)

[8.1.3 危険度情報（被害・警報・注意報）・避難所・避難情報等 20](#_Toc29402201)

[8.1.4 交通情報・道路情報・ライフライン情報 20](#_Toc29402202)

[8.2 マルチデバイス（携帯サイト） 20](#_Toc29402203)

[8.3 避難所検索 20](#_Toc29402204)

[9 情報提供機能 21](#_Toc29402205)

[9.1 府からの情報提供 21](#_Toc29402206)

[9.1.1 送信コンテンツ 21](#_Toc29402207)

[9.1.2 Lアラート 21](#_Toc29402208)

[9.1.3 防災情報メール 21](#_Toc29402209)

[9.1.4 配信メール 22](#_Toc29402210)

[9.1.5 配信メール内容の確認 22](#_Toc29402211)

[9.1.6 ユーザ整理 22](#_Toc29402212)

[9.2 Twitter 22](#_Toc29402213)

[9.3 エリアメール 22](#_Toc29402214)

[9.4 多言語対応 22](#_Toc29402215)

[9.5 画面デザイン 23](#_Toc29402216)

[10 共通機能 24](#_Toc29402217)

[10.1 アカウント管理機能 24](#_Toc29402218)

[10.1.1 ユーザアカウント作成・編集・削除機能 24](#_Toc29402219)

[10.1.2 権限管理機能 24](#_Toc29402220)

[10.1.3 代理機能 25](#_Toc29402221)

[10.2 認証機能 25](#_Toc29402222)

[10.2.1 アカウント認証 25](#_Toc29402223)

[10.3 通知機能 25](#_Toc29402224)

[10.3.1 報告通知機能 25](#_Toc29402225)

[10.3.2 確定機能 25](#_Toc29402226)

[10.3.3 報告状況一覧 25](#_Toc29402227)

[10.4 画面制御 26](#_Toc29402228)

[10.4.1 表示件数 26](#_Toc29402229)

[10.4.2 ページ内移動 26](#_Toc29402230)

[10.4.3 画面印刷機能 26](#_Toc29402231)

[10.4.4 画面自動更新機能 26](#_Toc29402232)

[10.4.5 オンラインヘルプ 26](#_Toc29402233)

[10.5 その他 26](#_Toc29402234)

[10.5.1 動作環境 26](#_Toc29402235)

[10.5.2 コード項目の変更 26](#_Toc29402236)

[10.5.3 参考文書参照機能 27](#_Toc29402237)

[10.5.4 入出力機能 27](#_Toc29402238)

[10.5.5 拡張性の向上 27](#_Toc29402239)

[10.5.6 画像メモ機能 27](#_Toc29402240)

# 災害管理機能

## 災害管理機能

府本部ユーザが災害発生時に災害情報を新規で登録、または災害名に関する情報を編集する。特に災害の新規登録および編集時には関係者に通知すること。関係者の周知状況は府本部ユーザから確認する事が可能であること。また、震度情報やLアラート等の連携機能により取得した気象情報や地震・津波情報、国民保護情報を利用し、災害名を自動的に作成できること。

訓練用の環境を本機能の中で実現する場合は、性能等の非機能要件を含めて同一とすること。

### 災害一覧参照機能

登録済みの災害情報を一覧画面で参照可能とする。

災害の一覧については、災害名、発生日、災害種別を表示し、各項目でソート、絞り込みおよび検索を可能とする。

また、災害の一覧表示画面より各災害情報へアクセス可能とし、管理者ユーザは災害名に関する情報の編集・削除を可能とする。さらに、関係者からの入力通知等の連絡がある災害について一覧画面で把握する事ができるようにする。

さらに、訓練用の環境を本機能の中で実現する場合は、一覧画面では本番の災害名と訓練用の災害名を区別する事が出来るものとする。

### 災害登録機能

府本部ユーザが災害発生時に災害を新規登録、または災害名に関する情報を編集する。

登録にあたっては、発生日時、災害種別、災害名、災害原因の入力を可能とする。入力内容は後日災害情報を分析する際の検索条件となるため、災害名を除き可能な限り選択式で行うこと。また、入力方法については利用者の利便性を考慮した画面設計とすること。災害の新規登録および編集時には、関係者に対して通知機能を用いて通知すること。

### 災害入力情報紐付け機能

災害名の命名を待たずに、各市町村、各土木事務所等からの報告を行えるようにする。そのため、既に報告された結果に対して後から災害名に紐付ける事を可能とすること。さらに、災害名に関しては、連続で発生した災害情報を個別に管理する、また個別の災害情報を一つの災害情報として統合できること。（台風のように連続して被害が発生する可能性がある災害について、個別事案として管理するだけでなく、連続した台風が府全体に与えた被害を管理する事が可能となることを想定している。）

また、統合した災害情報を参照する際は、統合後の災害に紐づく災害情報が参照できるだけでなく、統合前の各災害についても絞り込みの上、参照できるようにすること。（たとえば災害Ａと災害Ｂを統合し災害Ｃとした場合、災害Ｃの情報だけでなく、災害Ａと災害Ｂも画面上で絞り込みのうえ、個別参照が可能であることを想定している。）

### 災害措置登録

災害対策活動が終息し、更新処理が不要となった段階で、該当の災害を終息のステータスに変更できること。

# 情報集約機能

各市町村、土木事務所、府本部より被害情報、災害対策本部設置情報、避難勧告情報に係る情報を収集するための機能である。また、外部システムから気象情報や河川情報などを入手する。

## 警戒情報集約機能

台風接近時等に府本部、土木事務所、各市町村等が警戒体制を組んだ際に、必要とする情報を集約し、災害に備える。各情報については、ポータル画面にて概要を把握でき、詳細な内容は各画面で確認できること。

### 気象情報

気象庁およびLアラート等から取得した気象情報等について、一覧および詳細な情報を画面にて表示できること。また、情報はGISにて他の情報と重ね合わせて表示できること。

また、取得する情報は以下のものを想定している。

（気象情報、震度情報、国民保護情報、土砂災害警戒情報、津波情報、記録的短時間大雨情報、気象メッシュ情報、土砂災害警戒判定メッシュ、大雨情報（浸水害）の危険度分布、洪水警報の危険度分布、高解像度降水ナウキャスト、降水短時間予報　等）

### 河川・土木情報

府洪水予報情報、水防災システムおよび防災テレメータから取得した河川情報（雨量、水位、潮位、カメラ画像等）について概要および詳細な情報を画面にて表示できること。また、情報はGISにて他の情報と重ね合わせて表示できること。

### 土砂災害情報

各地域のハザードマップ（浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波想定区域）に加えて、気象庁（気象業務支援センター経由）が発表する土砂災害警戒判定メッシュ情報について概要および詳細な情報を画面にて表示できること。また、情報はGISにて他の情報と重ね合わせて表示できること。

## 被害情報収集機能

各市町村、府本部、土木事務所等からの被害情報入力により、被害情報を集約する。

被害報告詳細(実避難人数、人的被害、住家被害、非住家被害、公共土木施設被害、被害金額等)について収集する事を目的とするが、災害発生初期を想定し、確定情報だけでなく不確定情報も収集する。

### 被害情報入力機能

各市町村および土木事務所等にて被害情報の入力を行う。また、被害情報を登録後、通知機能を用いて関係者に通知すること。

#### 被害件数報告機能

災害に伴う人的被害、住宅被害、非住宅被害等に関する被害件数の報告を入力する。件数の入力にあたっては、確定情報のほか、不確定情報を入力することができること。

また、入力が必須の項目と省略可能な項目は、色分け表示等で利用者にわかりやすくすることや日時の入力において規定値を設けること、プルダウン・カレンダーからの入力を行うなどの利用者の利便性を考慮した画面設計とすること。

#### 通報受付機能

通報を受けた被害内容（未確認かつ概況のみ）を管理し、被害情報の確認を行う要員へ指示可能な機能を有すること。さらに通報一覧にて、通報内容に対して重要度に伴う強調表示や進捗状況が確認（未対応、対応中、対応済み、対応不要等）できること。

また、本通報による被害確認のうえ、（３）個別被害報告機能を入力することとなるため、関連性を管理できること。

#### 個別被害報告機能

河川氾濫、倒壊、土砂崩れ等の個別の被害報告を行う。個別の被害に関する件名や受信日時、発生元、手段、重要度、場所、原因、対応班など、被害に関する詳細情報を入力する。入力にあたって、住所の入力によりGISの緯度、経度が把握できる仕組みを有すること。入力にあたっては、オンライン接続した通常の端末からの入力だけでなく、オフライン入力に対応したモバイル機能による情報入力が可能なこと。

被害情報の登録についてはGISを活用し、被害状況の把握を容易とするような情報の入力を行えること。特に被害箇所の登録にあたっては、地図上に点・線・面・付箋の図形情報を複数登録できること。

また、被害情報の静止画等を添付可能とすること。

#### 被害情報取り込み機能

独自の防災情報システムを運用している市町村では、それぞれの防災情報システムへの入力と本システムへの入力の２重入力が発生する。このため、被害件数および個別被害報告画面にて、それぞれの防災情報システムで入力した内容を取り込む機能を有していること。

取り込みにあたっては、市町村の防災情報システムから、府が指定したフォーマットのcsv等で抽出されたデータの取り込みを可能とするほか、APIによるシステム間連携を可能とすること。

#### 被害情報出力機能

被害報告登録状況に変化があった際に、一定の時間間隔ごとに自動更新されること。

また、検索条件に基づいて一覧表示している内容を、CSV、Excel、Word（情報収集カード）と

して、ファイル出力できること。

### 被害情報現況確認機能

市町村より報告され、府本部にて確定した被害情報について、被害現況を参照する。

参照にあたっては、報告単位で被害情報を参照する。なお、権限に応じた被害情報の参照に制限すること。また、一覧にて直近10分以内、および直近30分以内の報告書については、表示色変更・記号付加などにより区別し、視覚的に分かりやすくすること。（報告書の変更箇所についても同様に区別する。）さらに、表示順の変更や近隣市のみの表示に絞るなど、利用者が個別に設定可能とすること。

また、報告一覧画面から、個別の詳細情報および編集画面へ推移可能なこと。

### 被害情報履歴参照機能

被害情報について、被害報告の経過を確認出来る履歴表示を行う。なお、一覧表示は、常に最新状況がわかるように画面の自動更新機能を有すること。被害の有無についても管理可能とし、一覧上にて被害がある場合は、一覧表示上の該当セル（たとえば人的被害で被害があった場合は、赤塗セルにする等）で被害情報が俯瞰できるようにすること。

### SNS情報収集機能

発災直後の情報空白期間を埋めるために、SNSを分析した結果を参考情報として活用できるようにする。具体的には、ソーシャルネットワーキングサービス及びインターネット上の画像・動画等共有サービス（以下「SNS等」という。）上において、ユーザ等が投稿・発信した動画、画像、メッセージ及びその他の情報等から事件・事故・災害等の情報を一定の条件に基づき抽出し、連携表示できるものとする。また、大阪府域以外の地域を閲覧できるライセンスを1つ以上用意すること。

1. SNS等からリアルタイムに抽出・表示した情報を表示と同時に音声で遅延なく発災情報が分かるように読み上げができること。
2. 対応しているSNSはTwitter,Instagram,Facebook,Youtubeが全て含まれており、同時に分類・表示ができること。
3. 国内・海外で発生した事件・事故・災害等の事案について、SNS等から日本語に翻訳して抽出し表示できること。
4. 発生事案が分かるように自動で内容を要約したタイトル表示ができるシステムであること。
5. 複数のSNS等から同時に分類・表示ができるシステムであること。
6. 画像解析や文章解析等を行い、誤情報及び発生事案等に関係のないSNS等の情報を自動判別しフィルタリングできるシステムであること。
7. SNS等から情報を抽出・表示する条件として、下記のとおりとする。

・投稿をカテゴリ及び事象に分類・抽出できること。

・同一事案と思われる投稿をまとめて抽出・表示ができること。・発生場所を投稿の位置やテキスト情報以外からも類推し、都道府県や市区郡町村単位で抽出・表示ができること。

・上記の抽出条件を複合して抽出・表示ができること。

1. SNS等から抽出される事件・事故の当該者及びその関係者またその事件・事故と関連すると想定される投稿について、情報が有用であると判断された場合に抽出・表示すること。
2. 複数のSNS等の情報を住所や地名、または地図から同時に検索し、投稿場所を地図に表示できること。
3. デマやフェイクの情報と判定した場合、その情報をデマであると分かるように表示できること。
4. 防災情報システムの画面上において、収集・分析結果を地図上に表示させるとともに、詳細確認時にはSNS投稿情報一覧画面やGIS画面から詳細が確認できること。
5. 地図表示の際には事象（区分）毎にアイコンを色分表示し、選択表示できること。

## 被害情報集計機能

2.2被害情報収集機能にて収集した被害情報を集計し、府本支部、市町村毎に被害状況を把握する。

その際、トップ画面に最新の被害状況を概況表示できること。

### 被害情報集約機能

被害項目毎の件数を表やグラフ等で視覚的な被害現況確認を可能とすること。また、画面は、災害対策本部設置時に常時表示させる事を想定している。そのため、画面の更新を自動的に反映・更新されるようにすること。

参照にあたっては、府全体、土木事務所単位、市町村単位で被害情報を参照する。また、アカウント情報をもとに所属するグループの被害情報を主たる参照対象とし、操作により他のグループの被害情報を参照可能とすること。

#### 被害件数

被害項目や対応状況毎の件数を表やグラフ等表示するとともに、新着や重要情報の色分け表示、各情報への遷移を可能とするなど、視覚的に理解可能な被害現況確認を可能とすること。

また、この確認画面は、災害対策本部設置時に常時表示させる事を想定しているため、トップ画面に最新の被害状況を概況表示できること。

#### 被害箇所

GISを用いて、地図上に個別被害報告情報を含む各種情報（浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の防災情報）を表示し、被害箇所の特定と把握を行う。

また、災害現場情報に現場の静止画像を添付することで、視覚的にも災害内容の把握を可能とする機能を有すること。

### 災害経過履歴参照機能

#### 災害経過履歴参照機能

災害について、時点情報を指定した災害状況の表示や、経過を確認出来る履歴表示が行える機能とする。日時を指定し、その時点での被害情報を表示する。さらに、指定時間後の状態にスライド表示させ、変化点を強調する機能などを設ける事により、災害状況の推移を把握可能とすること。

### 速報・確定報作成機能

#### 公開用資料・部内用資料作成機能

公開用資料は確定情報を用いて作成し、部内用資料は確定情報に不確定情報を加えて作成する。主たる帳票類は参考資料に提示しているが、それ以外の資料作成機能についても設計時に協議のうえ、構築すること。

#### 消防庁報告４号様式作成機能

消防庁報告４号様式は確定情報を用いて作成する。

#### 帳票項目の変更

帳票のレイアウトはExcel等の編集可能な形式で作成し、容易に帳票レイアウトの変更が可能であること。帳票レイアウトの変更は府の担当者でも容易に変更でき、特別なプログラムを必要とせずとも出力帳票に反映できること。

### 資料参照・訂正機能

作成された公開用資料等は、随時参照可能とし、また、参照した公開用資料等を訂正することができること。

## 災害対策本部設置情報登録機能

府本部、土木事務所、市町村の災害対策本部設置状況を集約するとともに、おおさか防災ネットと連携することで府民への広報を行う。

### 災害対策本部情報入力機能

災害本部名称、設置状況、要員配備状況等の災害対策本部設置情報を報告する。報告にあたっては、報告日時と報告番号を設定する。

また、入力にあたっては、確定情報のほか、不確定情報を入力することができる。

### 災害対策本部設置状況確認機能

#### 災害対策本部設置状況確認

災害対策本部の現況の一覧を表示する。表示にあたっては、災害警戒本部/災害対策本部の設置日時、閉鎖日時および配備要員を、設置団体毎に把握出来るようにすること。

また、設置状況確認画面から、個別の詳細情報および編集画面へ推移し、修正可能なこと。

なお、一覧表示は、常に最新状況がわかるように画面の自動更新機能を有すること。

### 災害対策本部設置情報履歴参照機能

設置団体別に災害対策本部情報登録した内容の履歴を参照可能とする。

災害対策本部の人員については、その経過を把握できるようにすること。

## 避難勧告等登録機能

府本部、土木事務所、市町村の避難勧告等の情報を集約するとともにおおさか防災ネットに連携することで府民への広報を行う。

### 避難発令判断支援機能

受信した気象情報・地震津波情報・国民保護情報やハザードマップ等と重ね合わせ、危険度を可視化し、現時点での発令推奨地域や避難誘導候補を表示し、避難情報の発令、避難所の開設等を支援できること。なお、市町村が個別に閾値設定ができること。

情報に基づき、閾値超過などにより自動的に自動通知を実行できること。

あらかじめ設定された地域を、地図またはリストから選択して避難準備情報／避難勧告／避難発令などの発令範囲を設定できること。

発令基準に達した場合に、画面上にアラート通知メッセージを表示し、気づきを促すこと。また、地図上の発令アラート画面から避難勧告・避難所開設が同時にできること。

併せてＬアラートやエリアメール等への発信も可能とする。

なお、発令には、必ず確認行為が必要となるようにし、自動での発令は行わないこと。

また、避難所管理機能や避難勧告・指示機能にもデータ反映すること。

### 避難勧告等情報入力機能

避難勧告等の対象となる地区、区分（避難準備、避難勧告、避難指示、避難解除）、発令・解除日時、更新日、対象世帯数・人数等、避難世帯数・人数を報告する。入力にあたっては、確定情報のほか、不確定情報を入力することができる。

また、報告にあたっては、ピーク時の世帯数・人数および実避難世帯数・人数等を把握する必要があり、入力内容から自動計算もしくは手動での入力を可能とする。

なお、発令区のマスタ情報にはふりがなを持たせること。

### 避難勧告等状況確認機能

避難勧告等の現況の一覧を表示する。なお、一覧表示は、常に最新状況がわかるように画面の自動更新機能を有すること。

表示にあたっては、下記の３階層にて表示するものとする。

##### 市町村毎の一覧画面

市町村別に避難勧告等の状況を確認する。

##### 市町村内の地区別の一覧画面

地区別の避難勧告等の状況を確認する。

##### 避難勧告等詳細

地区別の一覧から選択する事によって個別の発令内容を確認する。

また、報告一覧画面から、個別の詳細情報および編集画面へ推移可能なこと。

### 避難勧告等情報履歴参照機能

登録された避難勧告等の報告履歴を参照可能とする。ただし、避難勧告等の対象となった人数に関しては、その推移が分かるような参照を可能とすること。

## モバイル機能

1. スマートフォンで動作するモバイルアプリ（ネイティブアプリ[[1]](#footnote-1)推奨）を使って、オフラインでも、被害情報を登録できること。なお、通信可能なエリアにおいて、登録した情報をシステムと同期させること。
2. GPS(位置情報)や撮影日時などを動画や静止画に付与して、タッチ操作を中心に簡易操作で登録できること。
3. 音声認識機能により災害状況が入力できること。
4. 地図による登録状況の確認ができること。
5. 被害箇所状況(被害や依頼内容)や位置情報、画像情報等を登録でき、地図や一覧で確認できること。
6. 避難所の状態（開設・閉鎖）、収容状況、要望等を登録でき、地図及び一覧上で確認できること。

# 情報共有機能

## 活動情報共有

各地域の本部設置やクロノロジー件数、避難勧告・指示、避難所、消防庁報告等の状況を一覧画面に表示し、府内全域のリアルタイムな更新状況を確認できること。特に緊急情報をトップ画面に表示するなど、最新情報等を表示すること。また、メニューには、収集情報の検索機能や参照が必要な関係システムのリンクを設けること。

### 職員向けポータル機能

関係者が災害対応に必要な各種情報を視覚的に確認しやすいように各職員の権限に応じたポータル画面を設けること。

また、緊急情報表示として、利用者全体に迅速に共有するべき重要情報を登録し、トップ画面上部に表示できること。

尚、気象情報等と連動し、設定した条件を契機に自動的に共有事項を表示できること。

### GIS機能

府内の概況を示し、指定した緊急情報からGIS上の被害情報等に画面遷移可能なこと。

サマリ地図を表示し、気象注警報、地震津波情報、発令、避難所、本部設置、クロノロジー被害、雨量・水位情報、土砂災害警戒情報などをポータル画面に集約し、サマリ地図表示切替できること。

### 気象ポータル機能

気象庁から受信した注意報、警報等および震度情報の発令状況が、発令単位で地図上に図示されること。

### 状況モニター機能

気象情報、主要河川情報（警戒水位、危険水位を超過した状況等）、市町村から報告された本部設置情報、避難勧告指示状況、避難所開設情報、被害情報、活動情報市町単位で一覧および地図上に図示されること。特に活動情報については、進捗状況が分かるような仕組みを有すること。

### 災害映像情報

個別の被害情報について、画像・動画等が添付されている場合、それらのサムネイルを地図上に表示可能なこと。また、その画像・動画情報を拡大して再生可能なこと。

### ライフライン情報

電気、ガス、水道、公共交通機関の状況を自動的に取得し、状況を把握できること。

### 掲示板

関係者に周知したい情報や運用時のシステムメンテナンス案内などを表示すること。

また、各報告・メッセージが到着したことに気づくことができるように、新着情報を表示すること。（ホップアップ表示もしくは、新着情報一覧を作成すること）

### 文書フォルダ

災害時に利用するドキュメント（マニュアルや申請文書等）を格納する文書フォルダ機能を有すること。

フォルダは文書種別毎に階層構造とし、ファイルの参照・登録・削除・更新を可能とすること。

また、各フォルダに対して、アカウント毎に参照・登録・削除・更新に係るアクセス権が設定可能なこと。

### メッセージ機能

関係者間で連絡可能なメッセージ機能を有すること。また、本システムで作成した資料等を予め登録された関係機関や任意に登録した機関に、FAX、電子メールで送信できること。

### 3.1.10 通知メッセージ機能

気象情報等、他の機能と連動し、情報覚知を促すような文言を、通知メッセージとしてポップアップ表示できること。

# 活動支援機能

## タイムライン管理

府および市町の災害対策本部運営において、各自の緊急時の行動計画を一覧表示し、その行動計画に応じた対応状況をチェック式で管理・共有できること。

## 支援要請

### 物資要請

各避難所、市町村、土木事務所等から、必要となる支援物資を要請できること。

### 応援要請

各市町村、土木事務所等から、応援を要請できる仕組みを有すること。

応援要請にあたっては、既存の被害情報等と紐づけて応援要請の内容がわかりやすい仕組みとすること。

## 受援支援

他団体からの職員の受援を受ける際の応援要員管理、作業管理に係る支援機能を有すること。応援要員管理については、応援要員の持つスキルセットや応援可能な期間等の基礎情報や宿泊状況、健康状態等についても管理できること。作業管理は、どのような作業に従事しているのかについて管理できること。

## 避難所管理機能

避難所の管理（登録、開設・閉鎖等）を行うとともに、避難している被災者の情報収集、避難所の運営支援を行う機能を有していること。

#### 避難所情報

避難所の基本情報（名称、住所、避難所種別、指定区分、災害種別、救護所有無、収容可能人員、避難者数、臨時可否等）を管理できること。また、各避難所を地図（GIS）にて住所や緯度経度情報を含めて表示できること。

また、緊急避難所、福祉避難所、津波緊急避難所、帰宅困難者の一時滞在施設等のマスタ登録されていない施設（緊急避難所等）の場合は、新規に施設情報を登録し、基本情報を登録できること。

さらに、各種情報を任意のファイル形式（WORD、PDF等）で添付し保存でき、各施設の状況を時系列で登録できること。

#### 避難所開設・閉鎖管理

避難所の開設・閉鎖情報を登録でき、開設情報として府へ報告するとともに、府民に向けて情報配信できること。

開設状況の登録は、画面からの個別登録だけでなく、CSVデータの一覧ファイルによる一括取込登録ができること。

#### 避難所運営情報

対象避難地域や避難所状況（空き・混雑・一杯・不明）、避難者数（男女、帰宅困難者、種類）、要緊急搬送車（重症者））などを登録できること。

また、被害有無（未確認、有、無）、ライフライン状況、被害内容、使用可否、医療救護班（常駐・巡回）、歯科医療救護班、保健活動班、メンタルヘルス、ボランティア等の登録・管理ができること。

また、EMISと連携し、安否確認のための避難者名簿の管理、要配慮者、特殊疾病やアレルギーの保有者情報、食料物資の状況などについても情報を収集できること。

#### 避難所一覧情報

施設を一覧表示し、検索条件に応じた施設リストが表示され、Excel又はCSVファイルで出力できること。表示順はソートにて変更でき、各情報の詳細画面にリンクにて遷移ができること。

避難所の開設や閉鎖状況、更新日時等の検索条件に応じて、当該情報を検索できること。

また、検索条件に応じた一覧情報をExcelファイル出力し、二次利用等ができること。

#### 避難所一覧編集・一括登録

当該情報の避難所運営情報や収容状況などを一括で一覧編集が可能であること。

また、避難所一覧について、同じ内容であれば複数の避難所にまとめて一括反映できること。

さらに、Excelファイル登録により、避難所運営情報を一括で登録できること。

#### 避難所運営支援

運営に係るマニュアルの格納、役割分担表の管理、市町村や府に対する報告や要請情報の収集機能、市町村や府からの情報伝達機能等の避難所運営を支援する仕組みを有すること。

## 物資管理

平時の物資管理として、入庫、出庫、移動、合算などの物資の在庫管理ができること。

備蓄物資の情報を登録し、随時更新・削除ができること。備蓄倉庫の位置情報は、GIS上で視覚化できること。

# 活動体制の確立

## 組織体制及び動員配備態勢

### 本部設置（配備態勢）機能

本部配備態勢状況を登録できること。また、基本情報（本部名、所在地、報告日時、所属、連絡先、報告者）に加えて、対処内容やその他メモ等を登録でき、各災害に応じた配備態勢を選択し、参集人員や本部機能に支障がないか登録・修正できること。

### 本部移行支援機能

警戒体制等から本部設置体制へ移行する際の支援を行う機能を有していること。

過去の経緯を含めた実績、残タスク等の情報を整理し、引継ぎを支援できること。

### 本部設置（配備態勢）一覧機能

各部局や市町村、関係機関毎に、配備態勢状況や参集人員及び消防出勤人員などを一覧表示し、Excel/CSVファイル出力やPDF出力（印刷）できること。

### 本部体制図

本部の体制図を作成及び表示できること。さらに、体制の枠に従い要員をアサイン可能とすること。

### 関係機関との連絡調整

関係機関（府警警備部、陸自第3師団、大阪海上保安監部、大阪管区気象台、近畿地整企画部、大阪市消防局、関電、大阪ガス、NTT西日本、大阪広域水道企業団）との連絡調整を支援する機能を有すること。

### 履歴管理機能

配備態勢状況の履歴を保持し、遷移を参照できること。

## 緊急連絡による職員参集指示

### 配信機能

府、市町村が設定した各グループの参集対象者に対して災害種別に応じた本部体制確立に必要な参集対象者に自動的に参集指示メールが送信できること。また、メール配信は、自動配信だけではなく、手動での配信も可能なこと。

手動配信時には予約配信も可能であること。

### 自動配信機能

津波警報、府内震度5強以上の地震など一定条件の事象が発生した際、自動的に直ちに指定された配信グループ（全職員の場合も含む）宛てに参集指示及び安否確認メールが送信できること。

また、職員の応答結果を所属長が確認できること。

### 参集回答機能

安否状態、登庁可否、参集見込み時間等の項目により参集対象者より応答できること。

回答結果は、回答結果をリストやグラフ表示でき、所属長がシステムにアクセスし確認できること。

### 再配信機能

参集対象者からの応答が一定時間の間に無かった場合、該当者に一斉配信の再送信が自動的にできること。最初の配信から再配信までの時間が設定できること。

### 訓練機能

日時を指定して、部局、所属、職員毎に訓練メールが送信できること。

また、応答結果を自動集計し、部局各所属毎に、応答時間単位で集計、グラフ化、出力が可能であること。

### 参集対象者マスタ機能

参集対象者のマスタ情報は、課・班のグループ単位による管理ができること。また、マスタ情報は、CSVデータを一括で読み込むことで随時メンテナンスができること。

また、参集指示メールを受信するメールアドレスの変更は、参集対象者自身が変更できること。

### 配信メール作成

参集指示メールのテンプレートをあらかじめマスタ登録し、災害等事案の種別に選択できること。

### 履歴管理機能

配信の送信履歴を確認できること。また、日時、配信対象課・班、職員名・災害名等による検索が可能であること。検索キーは、導入時に設定できること。また、履歴画面の印刷及びExcel形式にてファイル出力できること。

また、配信ができなかった場合は、その理由が表示・出力されること。

### 参集履歴機能

応答状況について、応答済、未応答の項目にて集計を自動的に行い、集計結果かを参照できること。また、集計結果は課・班単位に参照でき、課・班・職員名等による検索が可能なこと。検索キーは、導入時に設定できること。

# 報告機能

## 帳票出力機能

情報集約機能にて登録された被害情報と外部連携により収集した情報をもとに帳票を作成する。

また、出力する帳票はプレビュー機能を設けるともに、二次加工が容易なExcel形式やPDF形式にて出力する。なお、帳票フォーマット変更や追加を容易にできること。

各種資料等の作成において、入力した被害詳細情報（数値情報）、ライフライン情報、河川水位などを参考に、各種資料作成の省力化が図れること。

#### 部内用資料様式

とりまとめた不確定情報を含んだ被害情報について、内部で協議するための資料。

#### 本部会議用資料様式

とりまとめた確定情報に限定された被害情報について、本部会議で協議するための資料。

（参考資料）

■平成30年台風21号

http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/20180903taifu21/higai.html

■平成30年大阪府北部を震源とする地震

http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/osaka\_jishin/higai.html

#### 公開用資料様式

確定した被害情報を、おおさか防災ネット及び報道機関に公開する資料。

#### 消防庁報告４号様式

消防庁報告４号様式。

#### 災害年報

年間の被害情報をとりまとめた資料。

（参考資料）http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/saigainenpou/index.html

#### 市町村個表様式

任意の市町村の被害状況を確認するための資料。

## 情報管理

過去に登録した報告を個別および統計データとして出力する機能である。

### 被害報告情報の取得

収集した被害報告を日付、災害名、市町村名、災害種別等の検索項目で検索し、二次加工が容易なExcel形式で利用者の端末にダウンロードする。

### 統計情報の取得

指定した期間内の被害報告について災害種別毎に、年度別、市町村別等の区分で統計データを作成し、Excelの帳票形式での端末にダウンロードする。Excel帳票に関しては、10帳票程度とする。また、EUC（End User Computing）機能を設け、簡易に明細情報を取得可能とする。ただし、市町村の利用も想定し、アクセス権限に沿った制限を機能として用意すること。

### 防災マップ

GISを活用し、地形情報・浸水想定情報・活断層情報などと、指定した期間内の被害報告について市町村、災害種別毎に集約した結果を重ね合わせて表示し、危険箇所の確認を行うとともに、画像データを出力する。

# 訓練機能

本府および市町村等が実施する防災訓練において活用可能な訓練支援機能を提供すること。

なお、防災訓練時に利用するデータは、実際の本番災害用データとは別に複数件のデータを登録しておくことができること。また、実災害のデータを訓練用のデータとしてコピーして防災訓練に活用することや、訓練用データを事前入力・編集・保存することができること。

また、訓練モードでの稼働時には、外部への連携を抑制すること。

## 訓練環境との切替

警戒体制時や発災時、訓練時などの利用シーンに応じて、利用モードを選択し、それぞれの画面において、利用しているモード（警戒態勢・実災害・訓練）を切替表示すること。

さらに、現在どちらのモードを利用しているのかについて、画面上にて明確に示すこと。訓練モードでは、一目で訓練モードであることが分かるよう、現行システムと同じように、ページの上部を赤く表示すること。

## 訓練用環境の登録

訓練用の災害名称を登録し、複数の状況付与が登録可能であること。登録した訓練用災害名は、一覧で表示でき、一覧から新たな訓練用災害名の追加や登録済み訓練の編集、削除ができること。また、一度登録した訓練用災害名の登録情報はエクスポート・インポートが可能であり、バックアップの取得や過去の訓練用災害名のインポートも可能であること。

## 状況付与の登録

訓練用災害名に紐づく状況付与の登録画面を準備し、状況に関する情報を状況付与一覧で管理できること。なお、状況付与の登録の際は、状況の重要度、タイトル、状況付与内容を登録でき、登録した内容が表示される画面が指定できること。

# 府民向けポータル機能

## 府民向けポータル機能

### ポータルサイト

本府用および各市町村の府民向けポータルサイトとして公開すること。詳細は「おおさか防災ネットHP」（<http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>）を参照し、現行以上の機能を有すること。

住民が見たい市町村を選択でき、対象市町村（地域）の情報に絞った表示ができること。

各市町村は、市全体ホームページにリンクすることで、市町村毎の住民向け防災ポータル配信ができること。（市町村・地域選択ができること。）

また、ポータルサイトの公開に必要なドメインの管理を行うこと。

### 緊急情報・お知らせ

住民に迅速に共有するべき重要情報を登録し、府民に告知する緊急情報を表示すること。内容については、府、市町村の各ページで異なる内容を表示できること。

また、気象・地震情報等と連動し、設定した条件を契機に自動的に共有事項を表示できること。

### 危険度情報（被害・警報・注意報）・避難所・避難情報等

府民の避難行動における重要情報は、地図等を用いてわかりやすいものとすること。

### 交通情報・道路情報・ライフライン情報

公共交通機関の運行情報、道路情報、ライフラインの情報については、各関係機関の情報を自動取得し、表示すること。

## マルチデバイス（携帯サイト）

従来のPC画面に加えて、モバイル環境（スマートフォン・タブレット）へ対応し、PC画面とは異なる構成で表示可能とするなど画面サイズに応じた見易い表示画面とすること。

## 避難所検索

府民が避難所を検索できる機能を有すること。携帯やスマートフォンのGPS機能と連携し、最寄りの避難所およびそこまでの避難ルートについて表示できること。

避難経路については、災害情報をもとにルート構成できること。

# 情報提供機能

## 府からの情報提供

Lアラート、防災ポータルサイト、Twitter、防災情報メール、防災アプリ（Yahoo防災速報）へ配信制御ができること。

避難勧告等発令情報、避難所情報、本部設置情報、被害報告について、Lアラート、防災ポータルサイト、Twitter、防災情報メール、防災アプリ（Yahoo防災速報）、エリアメールの文字数制限にあうよう、自動的に文面を生成できること。

配信手段毎に配信内容を修正・加筆する機能を設け、配信先ごとの最大文字数の制限チェックを自動的に行えること。

また、即時公開および時間指定公開を選択でき、時間指定公開では公開開始日時を設定できること。さらに、１回の入力で複数のメディアに配信ができること。ただし、配信の際に配信する媒体を選択可能なこと。

### 送信コンテンツ

以下のコンテンツに関して、登録された府民に向けて情報を送信すること。

1. 避難勧告
2. 避難所開設情報
3. 気象警報情報
4. 光化学スモッグ情報
5. 水防警報情報
6. 土砂災害警戒情報
7. J-ARERT情報

### Lアラート

本番・訓練のLアラートについて連携可能な仕組みを有すること。契約期間内に発生するLアラート側の変更に伴う改修（地図化の対応等）を本調達範囲にて行うこと。

### 防災情報メール

防災情報メールについて、府民が簡便に登録できる仕組みを有すること。また、防災情報メール登録者に対してメールを自動配信する仕組みを有すること。

#### ユーザ情報

防災情報メール登録者は、以下のユーザ種類に分類される。

##### 所属分類

「職員」、「要援護者」、「サポーター」、「府民」

##### 使用言語

個人別に使用する言語を設定可能なこと。

##### 配信条件・地域

利用者が選択した配信条件、配信地域ごとに配信条件を設定可能なこと。配信地域・配信条件については、別添４\_防災情報メール配信条件・地域を参照すること。

### 配信メール

防災情報メール登録者に対して、配信条件に従ったメールを送信できること。配信内容についてはテンプレート等を用いて、定型的なメールが自動送信できること。

### 配信メール内容の確認

メール配信にあたっては、配信先（どのような条件の該当者に送付されるのか）毎に配信内容をプレビュー画面で確認できること。特に被害情報や避難所開設情報の訂正に伴う訂正報メール等での活用を想定している。

### ユーザ整理

配信不能となった防災情報メール登録者を整理するための機能を有すること。機能としての実装が困難な場合は、月に１回以上SEによる対応を行うこと。

## Twitter

府・市町村のTwitterアカウントを用いて自動発信できること。特に、文字数の制限を考慮し、分割して送付するなどの配慮を行う機能を有すること。

## エリアメール

エリアメール(ＮＴＴドコモ)と緊急速報メール(ＫＤＤＩ、ソフトバンク、楽天モバイル）に対して必要な情報を一括して自動配信できる機能を有すること。テンプレートの登録・編集機能を有すること。

## 多言語対応

府民向けポータルサイト機能および府民に直接送信するメール等においては、以下の言語について府民の選択により利用できること。

1. 日本語
2. 英語
3. フランス語
4. ドイツ語
5. イタリア語
6. スペイン語
7. ポルトガル語
8. ロシア語
9. 中国語（簡体字）
10. 中国語（繁体字）
11. 韓国・朝鮮語
12. ベトナム語
13. インドネシア語
14. タイ語

## 画面デザイン

画面のデザインについて、本府向けに構築する画面についてはJIS X 8341-3:2016の適合レベルAAに準拠すること。それ以外の画面については適合レベルAAに準拠することが望ましい。

また、準拠に関する準備作業および資料作成についても、本業務の範囲とする。

# 共通機能

## アカウント管理機能

### ユーザアカウント作成・編集・削除機能

管理者権限をもつユーザアカウントにて、ユーザアカウントの作成、編集、削除を行う。主に本府の担当者が管理者権限を持ちメンテナンスを行うため、ユーザアカウントの作成・編集・削除・権限変更が容易に可能な機能を有すること。

また、パスワードについては、文字数、英数字の組み合わせ、有効期限等のポリシーを設定できること。さらに利用者側でパスワード変更を可能とするとともに、利用者がパスワードを忘れた際などに、管理者がパスワードリセットしてメール送信できること。

### 権限管理機能

ユーザアカウントは、グループに所属するものとし、グループに対して権限を付与するものとする。

グループの設定は、組織軸（府本部/土木事務所等/各市町村/消防本部/その他関係団体　等）、管理区分（管理者/府本支部/利用者/参照者　等）の単位とする。グループ別に設定する権限情報としては、下記のような内容とする。

#### データの参照・入力・修正

権限に応じたデータの参照・入力・修正などが設定できること。設定は各データ項目単位で選択可能とすること。

#### 項目表示条件

表示する項目の並び順（例：市町村の並び順等）、画面遷移後の表示条件（例：自分の市町村を中心とした表示等）を設定可能とする

#### メニュー・機能の制約

権限に応じたメニュー・機能のみ表示・利用可能とする。

例：市町村は府本部のみで利用する機能は最初から非表示もしくはグレーアウト  
　　　で利用不可になっている

なお、災害登録機能で登録した災害名は、特定機関のみ利用できるような権限制御も実施すること。（訓練時に特定機関のみが利用する訓練用災害があることから）

また、報告書作成においては、権限に応じた組織における報告書が作成されること。

#### 画面設定

利用者の利便性を高めるために、アカウント毎に指定した画面のソート条件や絞り込み条件を設定・保存できること。

### 代理機能

被災や通信障害等に備え、一定の条件のもと、他の利用者になり変わって入力すること(代理入力)ができるものとする。

また、代理入力された報告書については、代理入力である事がわかるように表示色変更・記号付加などにより区別し、視覚的に分かりやすくすること。

さらに、代理入力ができるユーザの範囲は管理者において設定することとする。

## 認証機能

### アカウント認証

アカウント認証において、以下の仕様を満たすこと。

1. アカウントの認証はユーザIDとパスワードによる認証のほか、異なる認証方式を採用した二要素認証を基本とする。また、複数の端末から同時に同じアカウントにログインする事が想定されるため、証跡情報として端末情報＋アカウント情報をログに出力すること。
2. ログイン後は、所属の割り振りや、所属に応じたアクセス権限の設定により画面単位での権限制御を行うこととする。
3. パスワードの文字数、英数字の組み合わせ、有効期限等のポリシーを設定できること。

## 通知機能

### 報告通知機能

各ユーザに対して、関係する入力情報や外部からの連携情報をメール等により通知するため注意喚起を促す機能を有すること。注意喚起については、関係者の画面に通知を行う事や、画面内に警告が表示されるなどの利用者にとって分かりやすいものとすること。さらに、通知に対して確認した事を回答可能な機能を有すること。

また、報告内容に対して必要に応じて修正可能とすること。

### 確定機能

通知を受けた報告に対して内容を確認し、確定させる機能。報告内容はこの確定をもって集計対象となる。

### 報告状況一覧

災害登録、災害対策本部設置・解散、避難勧告等発表・解除が登録状況や災害登録の受領確認の状況を参照する。

## 画面制御

### 表示件数

一覧表示件数（20件・50件・100件等）の切替、ページ操作（先頭/前へ/次へ/最後）を簡易にできること。

### ページ内移動

画面の上部・下部にページ内ジャンプできること。

### 画面印刷機能

各画面をプリントアウト可能とすること。また、印刷の際にはA4用紙の横範囲に収まるような画面構成とすること。なお、地図画面を印刷して配布することが想定されるため、必要となるライセンスを調達範囲に含むこと。

### 画面自動更新機能

被害報告の集計画面や一覧画面において最新の状況を常に把握できるように、画面の自動更新機能を各画面に実装すること。なお、画面の自動更新機能は、手動更新および自動更新が可能なように画面上で更新方法を選択できるようにすること。

### オンラインヘルプ

各画面にヘルプアイコンを配置し、各機能や入力項目の解説文を表示できること。

## その他

### 動作環境

本システムは防災情報システム専用端末機のほか各市町村および消防本部の所有する端末で利用されるため、統一的な環境を用意する事が困難となる。そのため、システム利用にあたっては、端末認証の証明書を除き、特定のモジュールのインストールをする事無く稼働すること。

また、推奨環境とするブラウザについては、既存のブラウザを踏まえ本府と協議の上決定するが、ブラウザのアップデートにあたっても対応可能なシステムとすること。

### コード項目の変更

画面入力項目の一部であるプルダウンメニューに設定される固定値は、府職員の操作により柔軟に設定変更可能であること。なお、本機能をSE対応で実現する場合は、本府が依頼して３日以内に対応すること。

### 参考文書参照機能

災害マニュアルや関連文書などを文書フォルダからダウンロードし、参照可能とする機能を有していること。

### 入出力機能

登録データをブラウザ上で表示でき、csvやxmlなどのテキスト形式で入力・出力できる機能を有していること。

### 拡張性の向上

拡張性・連携性の向上として、他システム連携用のAPIを実装し、関連システムとの連携において容易に連携できること。

### 画像メモ機能

災害対策本部への参考資料や被害報告の添付ファイル作成に活用するため、ブラウザ上で地図画像ファイルや被害報告に添付された写真を読み込み、その上に描画・文章・アイコンを簡易作図できる機能を設けること。

#### 画像取込み機能

地図画面ファイルや被害現場に添付された写真や写真上に張り付けるアイコン画像の取り込みを可能とすること。取り込んだ写真は一覧で管理でき、随時追加・編集・削除が可能であること。なお、取り込んだアイコン画像については、プレビューも可能であること。

#### 画像エディタ機能

取り込んだ写真を表示し、イラスト・文書・アイコンを作図する画像編集画面を準備すること。なお、アイコンは画像取り込み機能で取り込んだアイコンを用いて写真上に描画できること。一度、編集した画像についても再度画像ファイルを開き編集可能であること。

以上

1. 端末に元から備わっている機能 [↑](#footnote-ref-1)